



坂町水害碑

～災害の記憶を後世に伝えていくために～



坂町

令和3年7月

坂町水害碑について

◇ 目 的

平成30年7月豪雨では、町内各地で大規模な土砂災害や浸水被害が発生し、多くの方が犠牲になりました。この豪雨災害での経験を踏まえ、災害について将来にわたって伝えていくことが重要であると考え、豪雨災害から得られた教訓を将来に伝承し、災害を風化させないための取組みとして、災害の記憶を後世に伝えていくために、この水害碑を建立しました。

◇ 概 要

● 外 観



正 面



裏 面

● 水害碑



1. 建立年月 令和3年3月

2. 建立者 坂町

3. 形 状

■ 碑面 高210×幅117×奥行46cm

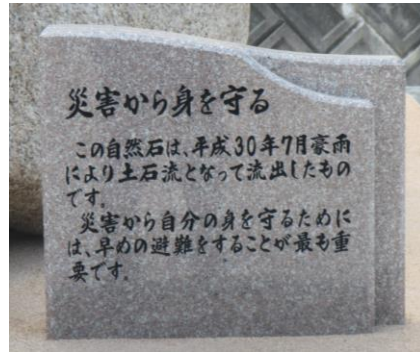
■ 台座 高43×幅146×奥行77cm

■ 土台 高70×幅600×奥行400cm

4. 災害履歴（犠牲になられた方の人数）

- 明治四十年七月十五日豪雨 (46人)
- 大正十二年七月十二日豪雨 (10人)
- 昭和二十年九月十七日枕崎台風 (5人)
- 昭和四十年六月十九日～二十日豪雨 (2人)
- 平成三十年七月六日西日本豪雨 (21人)

● 自然石



◎ 形状

■ 自然石

高180×幅190×奥行345cm

重さ 約16t

■ 説明石

高49×幅60×奥行15cm

～自然石の説明文（刻銘）～

災害から身を守る

この自然石は、平成30年7月豪雨により土石流となって流出したものです。
災害から自分の身を守るためには、早めの避難をすることが最も重要です。

この自然石は坂町小屋浦地区を流れる天地川の川底から見つかったものです。コアストーンとも呼ばれ、岩が風雨によって風化し固い部分が残ったもので、これらの石が土石流とともに流れ、被害を拡大させる原因となりました。災害から自分の身を守るためには、早めの避難を心がけることが最も重要になることから、この自然石を教訓として、水害碑に併置し、早めの避難を呼びかけています。

事業概要

(1) 小屋浦公園慰霊碑土台工事

■工期 令和2年10月20日～令和2年12月28日

■施工 有限会社 金子石材店

■総事業費 2,495,900円

(2) 小屋浦公園慰霊碑建立工事

■工期 令和2年12月8日～令和3年3月31日

■施工 有限会社 金子石材店

■総事業費 3,839,000円

所在地

■所在地 広島県安芸郡坂町小屋浦四丁目 小屋浦公園内（坂町自然災害伝承公園）



明治40年7月の水害を伝える石碑

坂町自然災害伝承公園内には、坂町水害碑の他に、明治40年7月の豪雨による災害を後世に伝えるための水害碑と当時の村長の徳をたたえ恩に報いるため「報恩」の二文字を刻む石碑が設置されています。



- ◇ 水害碑（明治43年2月建立）
- ◇ 報 恩（明治44年3月建立）

坂町自然災害伝承公園

Saka Town Natural Disaster Memorial "DENSHO" Park

平成30年7月豪雨災害を踏まえ、小屋浦公園の一部を町民の防災意識の向上と、過去の災害での犠牲者の追悼の場とするため、防災公園として整備しました。

令和3年3月に建立した水害碑やこれから建設していく研修施設での研修などで、過去の自然災害の教訓を町民に分かり易く伝え、後世まで伝承することにより、町民の防災意識を高めていくことが重要です。

このことから水害碑や避難所兼研修所建設予定箇所について、別称「坂町自然災害伝承公園」とし、自然災害の教訓を将来に伝承していきます。



問い合わせ先

〒731-4393 広島県安芸郡坂町平成ヶ浜一丁目1番1号
坂町民生部環境防災課危機管理室
TEL (082) 820-1540
FAX (082) 820-1522
メールアドレス kikikanri@town.saka.lg.jp